

2020年10月期
決算説明資料

株式会社オービス

JASDAQ (スタンダード) :7827

2021年1月22日

ORVIS CORPORATION



PART 1

会社概要

ORVIS CORPORATION

当社は、木材、ハウス・エコ、ライフクリエイト、不動産の4つの事業を基盤にビジネスを展開しております。特に主力の木材事業では、梱包用木材の製材及び販売において、国内最大手の評価を頂いております

会社名	株式会社オービス (ORVIS CORPORATION)
設立	1959年11月
代表取締役	中浜 勇治 (なかはま ゆうじ)
資本金	6億8,839万円
従業員数	189名 (2020年10月末現在)
売上高	90億円 (2020年10月期末)
事業内容	梱包用材等の製造、販売、プレハブハウスの製造、販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光発電システムの請負、自然エネルギー等による発電事業、フィットネスクラブ及びゴルフ場の運営、不動産の賃貸及び売買
本社	〒729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号
連結子会社	該当なし

社名の由来



オービス (ORVIS) とは、ラテン語で「創設者・出発点」という意味を持つ「origao」と「パワー・効力」という意味の「vis」を組み合わせた造語です。
みなぎる活力で未来を創造していきたいという企業テーマを象徴しております



顧客満足 社員満足

「お客様が満足して使用できるものを生産・提供することにより社会に貢献し、それにより社員の生活の向上を図り、株主の皆様へ利益を還元していく」という意味をあらわしております。

会社概要・・・主要な沿革

1959年11月	(有)中浜材木店を設立	2002年08月	木材運搬船「グリーンホープ」 (最大積載量35,000トン) 完成、 航海開始 (2014年05月売却)
1962年05月	広島県世羅郡世羅西町 (現世羅町) に 製材工場を建設	2002年11月	中須ゴルフ倶楽部の営業譲渡を受け、 営業開始
1968年03月	ニュージーランド松の製材工場建設 同時にプレハブ部材の生産開始	2003年05月	広島県福山市に賃貸マンションを取得し、 不動産賃貸開始
1971年06月	広島県福山市に製材工場移転 同時にプレハブハウスの完成品を販売開始	2006年09月	ジャスダック証券取引所に上場 (現東京証券取引所JASDAQ市場)
1974年09月	(有)中浜材木店を組織変更し、 中浜木材(株)を設立	2008年08月	木材事業姫路工場稼働開始 (2014年11月閉鎖)
1987年12月	広島市西区に賃貸ビルを建設し、 不動産賃貸開始	2010年02月	太陽光発電パネル等の施工・販売の開始
1989年04月	カラオケハウスの製造・販売開始	2015年11月	フィットネスクラブ「スポパル」オープン
1992年04月	(株)オービスに商号変更	2016年01月	カラオケ事業から撤退
2000年12月	パナマにTUI MARITIME S.A.を設立 (2014年09月解散)	2016年04月	広島県福山市松永町へ本社を移転
		2016年05月	(株)パルを吸収合併
		2018年06月	木材事業福山工場稼働開始



PART2

2020年10月期
業績の概要

ORVIS CORPORATION

2020年10月期の業績・・・要約貸借対照表（B/S）

- ◆ 資産の部・・・減価償却の実施による固定資産の減少（主に木材事業福山工場の機械及び装置）
- ◆ 負債の部・・・木材事業福山工場建設資金の返済により借入金が増加（借入時より2年据置後返済開始）
- ◆ 純資産の部・・・当期純利益の計上により株主資本が増加

（単位：百万円）

摘要		2019年10月期 通期実績	2020年10月期 通期実績	前期比 (%)
資産の部	流動資産	5,596	5,954	106.4
	固定資産	8,806	8,272	93.9
	うち有形固定資産	8,568	8,065	94.1
資産合計		14,402	14,226	98.8
負債の部	流動負債	3,938	3,970	100.8
	固定負債	6,897	6,527	94.6
	負債合計	10,835	10,498	96.9
純資産の部	株主資本	3,556	3,722	104.7
	評価・換算差額等	10	5	54.3
	純資産合計	3,567	3,728	104.5
負債・純資産合計		14,402	14,226	98.8

2020年10月期の業績・・・要約損益計算書（P/L）

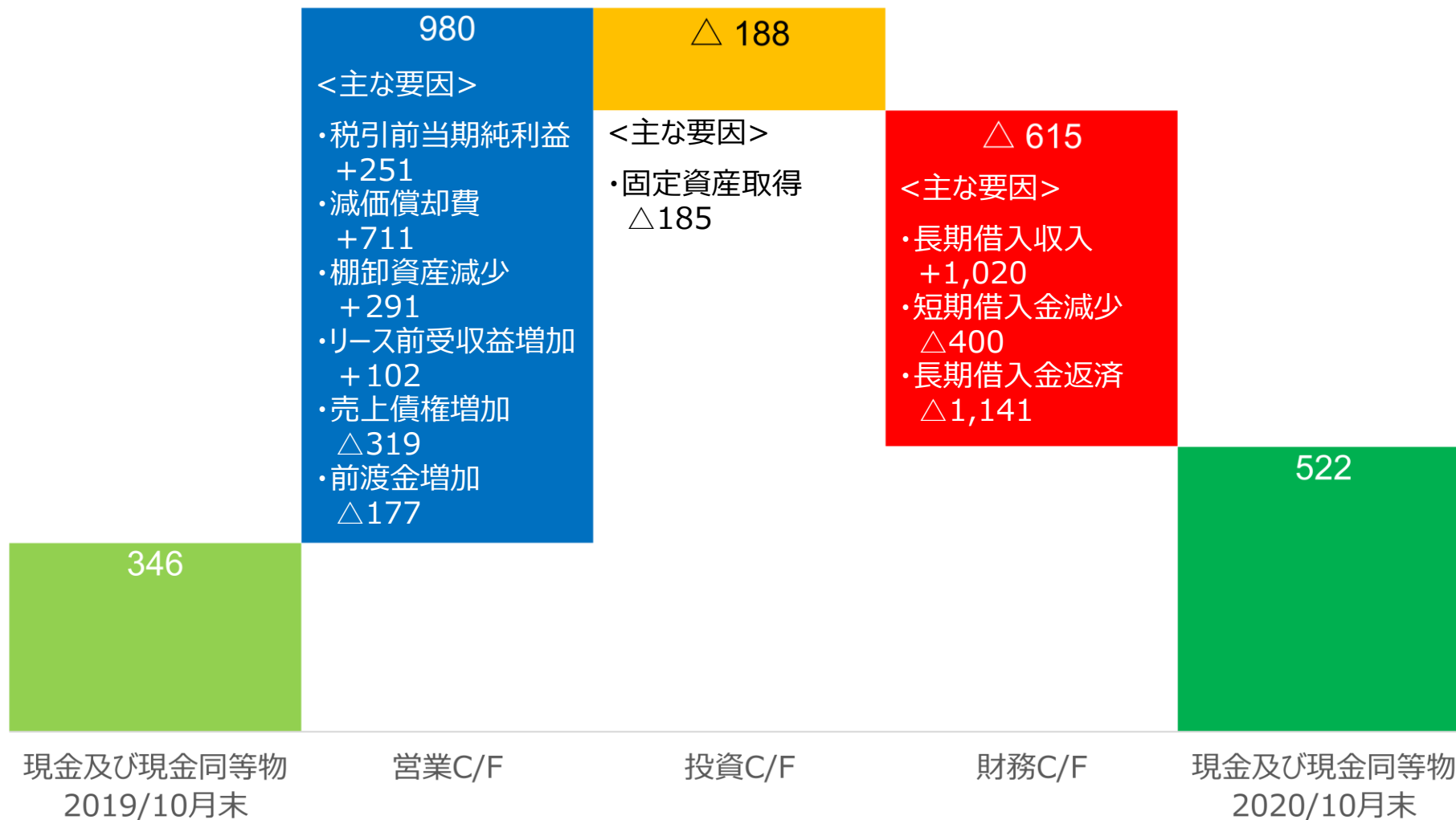
- ◆ 売上高・・・木材事業では輸出用梱包用材の需要減少、ライフクリエイト事業ではフィットネスクラブの営業自粛や会員減少など、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減収となる。
- ◆ 営業利益・・・木材事業の生産効率改善、ハウス・エコ事業の粗利率改善により増益となる。
- ◆ 当期純利益・・・前期に計上した固定資産売却益と補助金収入の反動減により減益となる。

（単位：百万円）

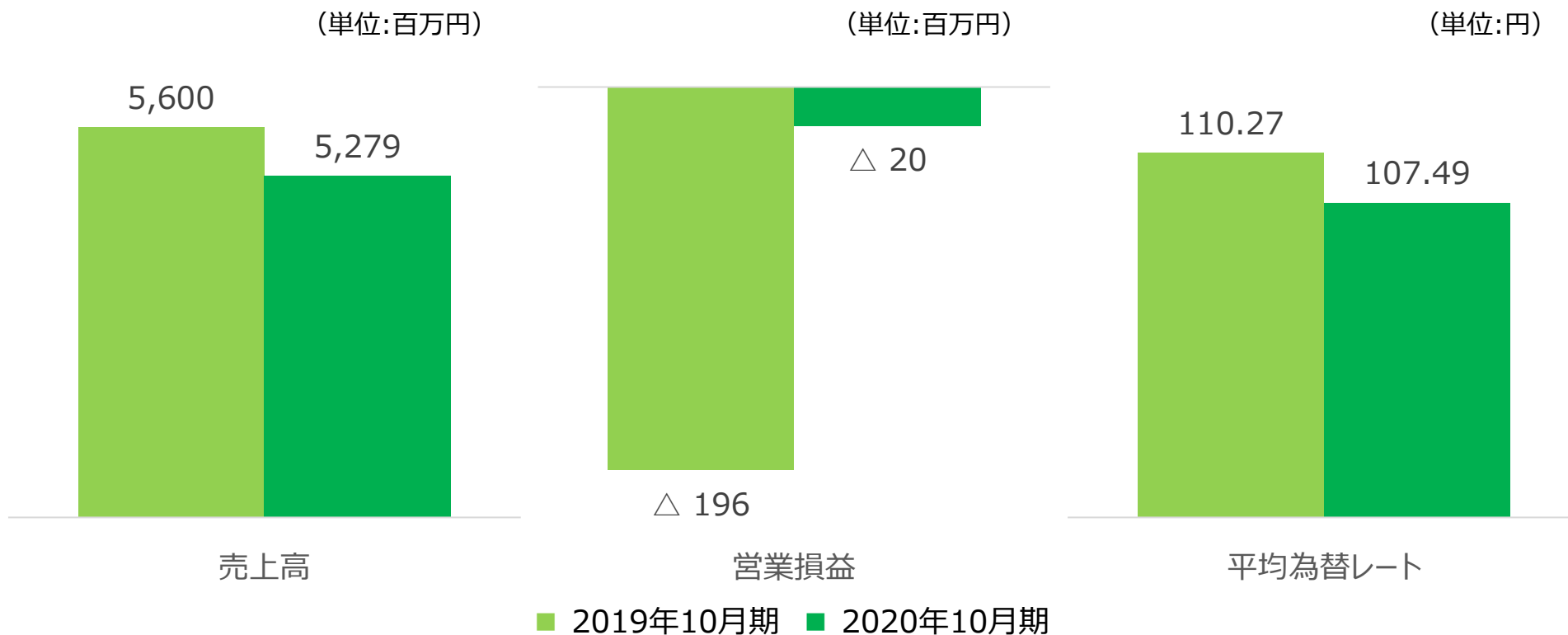
摘要	2019年10月期 通期実績	2020年10月期 通期実績	前期比 （%）	2020年10月期 業績予想
売上高	9,566	9,022	94.3	10,248
売上総利益	1,314	1,532	116.6	1,708
販売費及び一般管理費	1,230	1,205	97.9	1,282
営業利益	83	326	390.8	426
経常利益	19	271	1,364.1	361
当期純利益	393	194	49.3	288
1株当たり当期純利益	227円62銭	111円91銭	—	166円96銭

2020年10月期の業績・・・要約キャッシュ・フロー計算書 (C/F)

(単位:百万円)

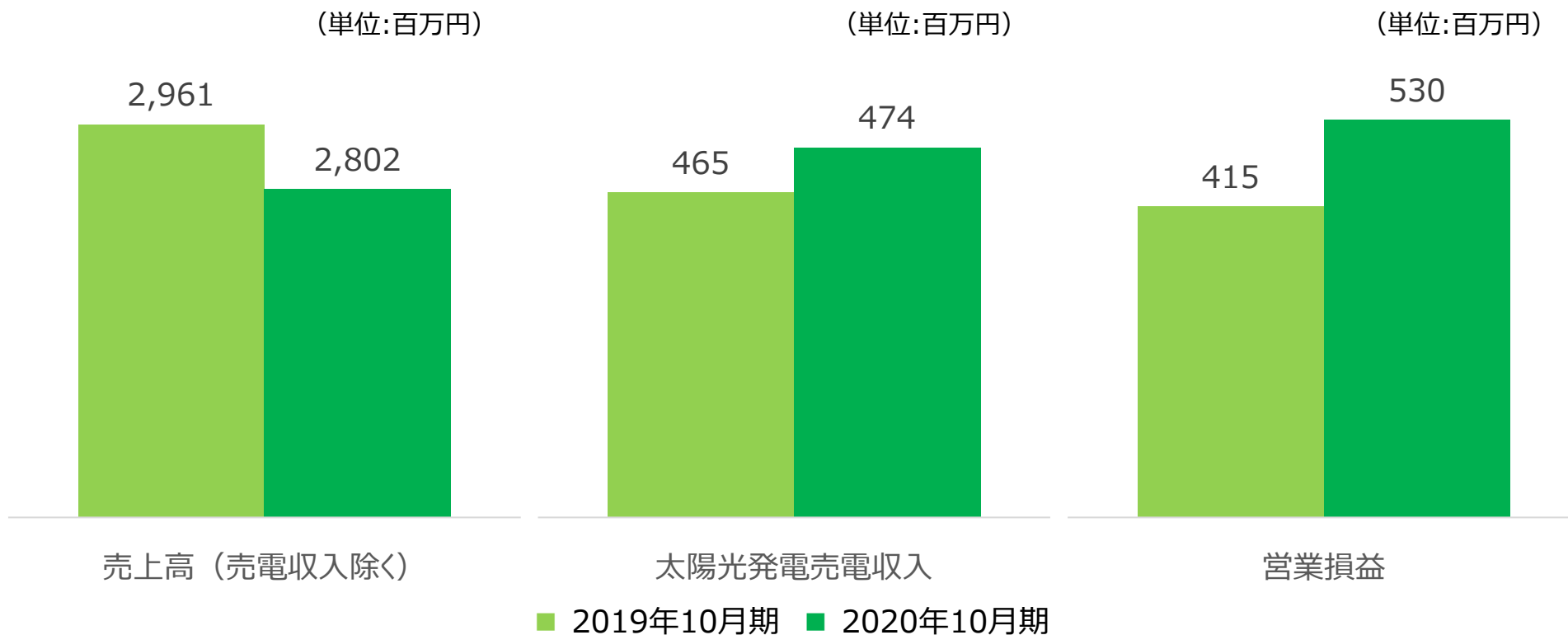


2020年10月期の業績・・・木材事業



- ◆ 売上高は、米中貿易戦争や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、輸出用梱包材の需要が大幅に減少し、受注環境が大きく悪化するなか、即納体制の強化や新規分野への販路拡大による営業活動の強化に努め、製品出荷量を4.6%減に留めるも、減収となる。
- ◆ 営業損益は、為替が前期比では円高となったことと工場稼働において1時間当たりの生産効率が飛躍的に向上したことにより改善するも、黒字化には届かず。

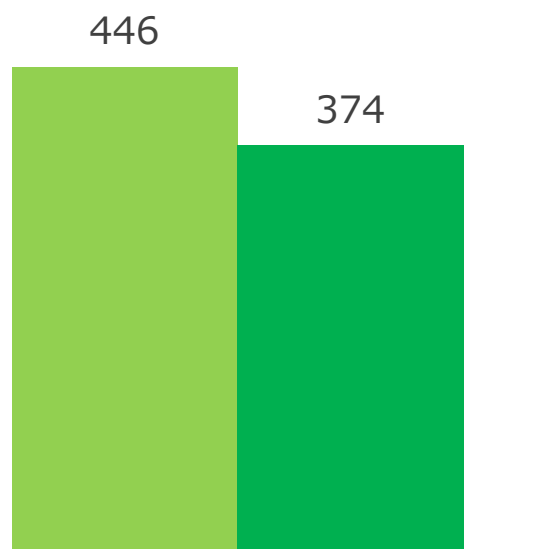
2020年10月期の業績・・・ハウス・エコ事業



- ◆ 売上高は、官公庁の大型案件によりリース物件の引渡額は増加したものの、販売物件は前期に民間の大型物件があったことの反動減により減収となる。
- ◆ 売電収入は、梅雨の長雨による影響を受けたが、年間を通しては天候に恵まれ増収となる。
- ◆ 営業損益は、原価管理・工程管理の徹底による粗利率の改善、売電事業の減価償却負担の減少により増益となる。

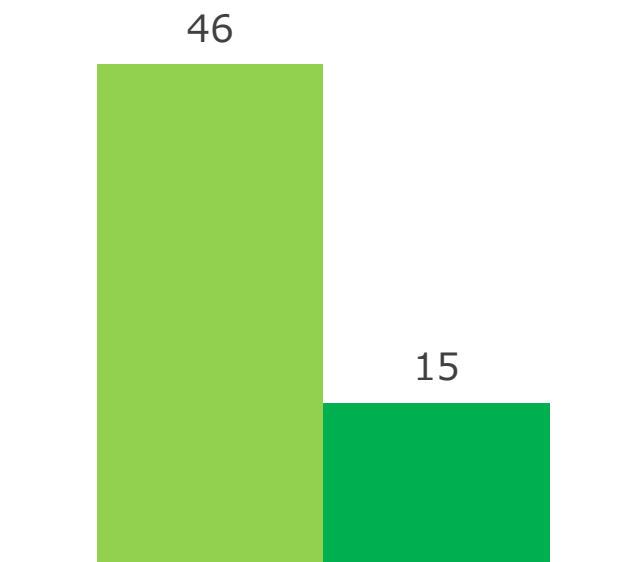
2020年10月期の業績・・・ライフクリエイイト事業

(単位:百万円)



売上高

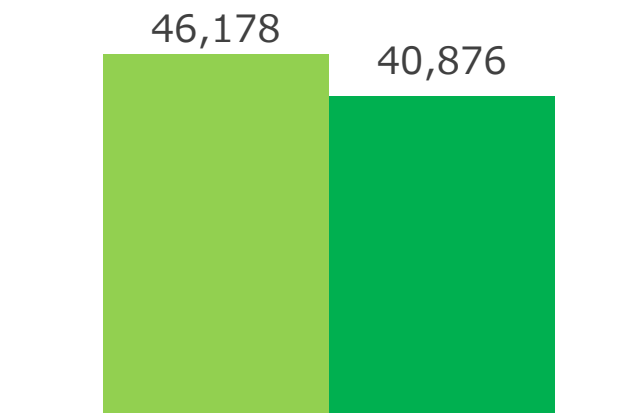
(単位:百万円)



営業損益

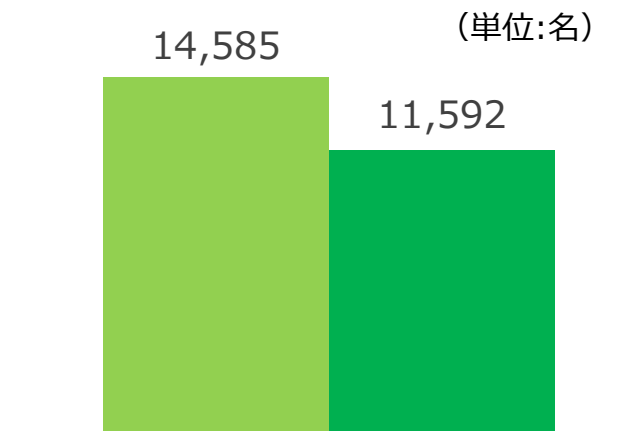
■ 2019年10月期 ■ 2020年10月期

(単位:名)



ゴルフ場来場者数

(単位:名)



フィットネスクラブ会員数 (月別累計)

- ◆ ゴルフ場部門は第1四半期・第4四半期は好調であったが、第2四半期・第3四半期では新型コロナウイルス感染症拡大の影響で多数のキャンセルが発生し減収となる。
- ◆ フィットネス部門は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により2月以降、会員の減少が続いたことや緊急事態宣言発令時に休館・営業時間短縮を実施したことで減収となる。



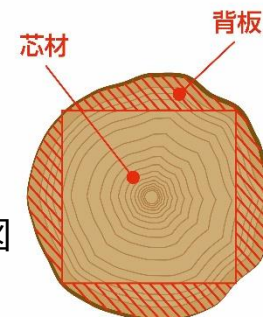
PART3

市場環境
今後の取組み

ORVIS CORPORATION

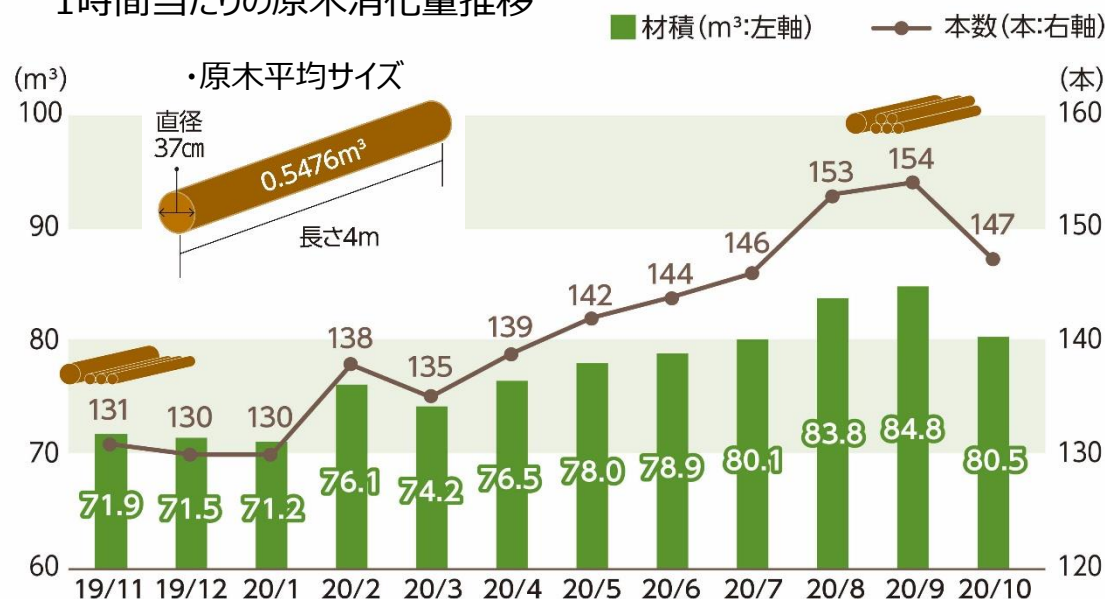
◆ 福山工場の現在の生産能力について

- フル稼働可能な体制を整えてはいるが、需要の減少に伴い最大生産能力を發揮できていない。その一方、1時間当たりの原木消化量は当初計画の70m³を大きく上回る80m³を超え、生産効率は飛躍的に向上している。
- 販路拡大のため、サイズが限定され需要が乏しかった背板部分を転用して、フェンスエクステリア材の生産を開始。



・原木断面図

1時間当たりの原木消化量推移

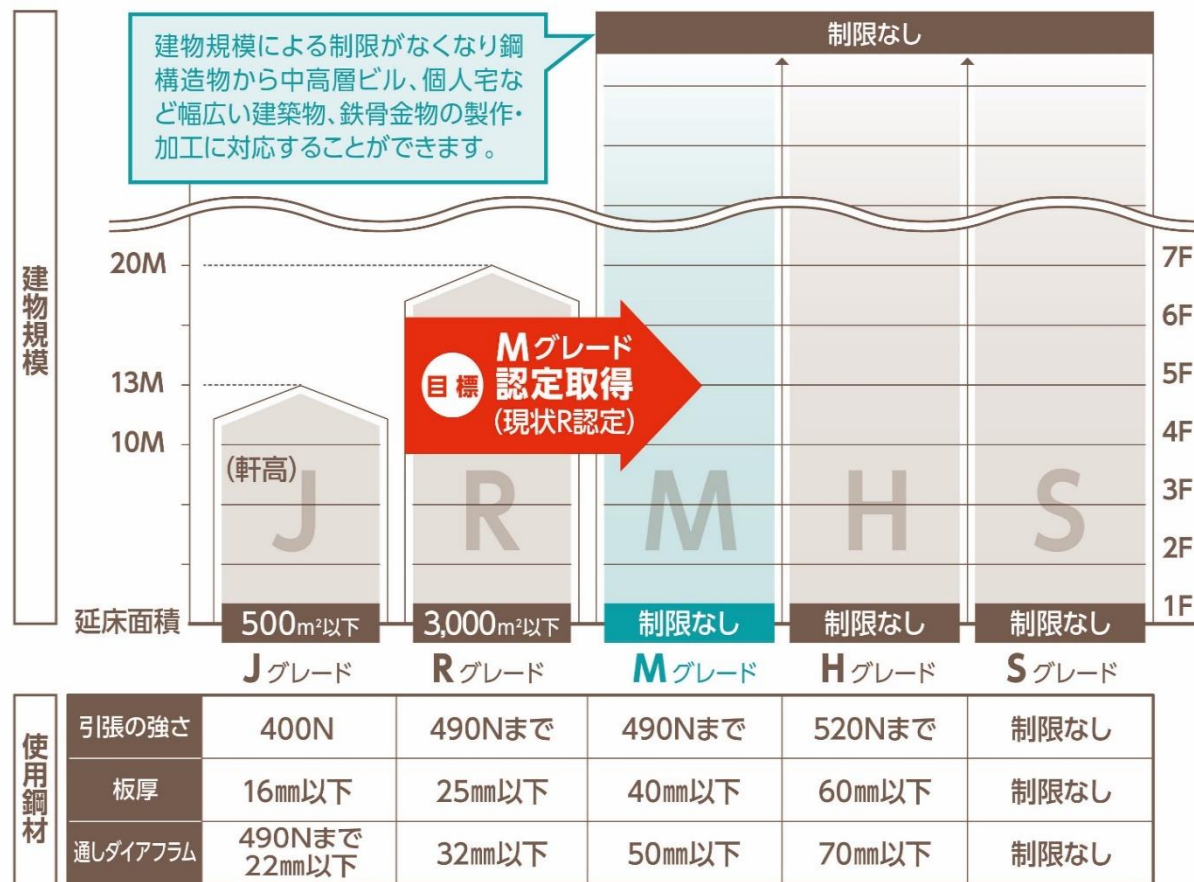


- ◆ 木材市場は米中貿易戦争及びコロナ禍の影響により先行きが不透明な部分が多く、収束時期次第では厳しい状況となる見込み。
 - 特に製品出荷量の約50%を占める輸出用梱包用材の受注が大幅に減少しており、売上高確保のため、海外向けエクステリア材のさらなる販売強化、外出自粛のなか需要の高まるD I Y用のホームセンター向け販売や蒲鉾板用材への使用などの新用途の提案型営業による販路拡大を図る。
 - コロナ収束後、既存製品需要の回復とそれに伴い工場最大生産能力を発揮することでさらなる増収増益を図る。



左から当社製品を使用した、輸出用梱包、電線ドラム、木材パレット

- ◆ 2022年10月期にMグレード（現状はRグレード）の資格を取得することで、他社との差別化による営業力強化と鉄骨内製化による原価圧縮により収益向上を図る。



施工例



- ◆ 重量鉄骨造、システム建築、改修工事の受注獲得を継続推進。
- ◆ 建築士、施工管理士等の資格取得推進、有資格者の新規採用により管理力を強化。
- ◆ 官公庁案件に比べ、資金負担の少ない民間向け営業を強化し、大型案件受注獲得増加及び資金繰りの改善を図る。
- ◆ 2020年12月に旧西部リースセンター跡地を有効活用した北広島町太陽光発電所が稼働。（計画中の自社太陽光発電設備は全て完工、合計13MW）

施工例



重点施策

大型案件受注獲得増加（目標年間7件）

◆ ゴルフ場部門（18ホール換算 山口県内来場者数No. 1 を常に目指す）

- コロナ禍においても、ゴルフ場来場者数は全国的に好調を維持しており、ソーシャルディスタンスの確保、定期的な消毒の実施等の感染防止対策を徹底し、安心してプレーできる環境を継続的に提供する。
- 感染防止対策を徹底したうえでイベントを開催し来場者数の増加を図る。



←:中須ゴルフ倶楽部
18番グリーンとクラブハウス

スポパル緑町クラブ:→
バイクプログラム
新たにS P R I N Tを開始



◆ フィットネス部門（会員数1200名超を目指す）

- 新型コロナウイルス感染症拡大により会員数が減少傾向にあるなか、感染防止対策を徹底したうえで、新たなスタジオプログラムの開始、設備の拡充、既存会員による紹介キャンペーン実施などの施策によりコロナ収束後の会員獲得を図る。



PART4

2021年10月期
業績予想

ORVIS CORPORATION

2021年10月期業績予想・・・通期

(単位：百万円)

摘要	2020年10月期 通期実績	百分比	2021年10月期 通期業績予想	百分比	対前期比
売上高	9,022	100.0%	9,423	100.0%	104.4%
売上総利益	1,532	17.0%	1,633	17.3%	106.6%
販売費及び一般管理費	1,205	13.4%	1,294	13.7%	107.4%
営業利益	326	3.6%	338	3.6%	103.5%
経常利益	271	3.0%	331	3.5%	121.9%
当期純利益	194	2.2%	236	2.5%	122.0%
1株当たり当期純利益	111円91銭	—	136円01銭	—	—
減価償却費計上額	711	—	709	—	—

2021年10月期業績予想・・・通期業績予想の要旨

部門名	売上高	前期比	営業損益	前期比
木材事業	5,506百万円	104.3%	140百万円	↑161百万円
ハウス・エコ事業	3,400百万円	103.8%	383百万円	72.3%
ライフクリエイト事業	428百万円	114.3%	40百万円	254.7%
不動産事業	87百万円	96.7%	51百万円	86.9%
全社（共通）	—	—	△278百万円	↓19百万円
合計	9,423百万円	104.4%	338百万円	103.5%

- ◆ 木材事業部は、販路拡大による売上の増加、工場稼働率upにより黒字化を目指す。
- ◆ ハウス・エコ事業は、コロナ禍における設備投資の延期等により短期的には厳しい状況となる。
- ◆ ライフクリエイト事業は、全国的にゴルフ場来場者数が好調に推移しており増益の見込み。

2021年10月期業績予想・・・第2四半期累計期間

(単位：百万円)

摘要	2020年10月期 第2四半期実績	百分比	2021年10月期 第2四半期 業績予想	百分比	対前年 同期比
売上高	4,438	100.0%	4,599	100.0%	103.6%
売上総利益	779	17.6%	767	16.7%	98.5%
販売費及び一般管理費	603	13.6%	646	14.1%	107.2%
営業利益	176	4.0%	120	2.6%	68.6%
経常利益	145	3.3%	140	3.1%	96.3%
四半期純利益	102	2.3%	101	2.2%	99.2%
1株当たり四半期純利益	59円30銭	—	58円57銭	—	—
減価償却費	349	—	352	—	—

当社は株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と認識しており、将来の事業計画、設備投資及び経営安定化のための内部留保に努めるとともに、業績に応じた適正な利益配分を考慮しつつ、安定的な配当を継続して実施していくことを基本的な方針としております。

摘要	中間配当 (円)	期末配当 (円)	年間配当 (円)	当期純利益 (百万円)	配当性向 (%)
2015年10月期	0.00	10.00	10.00	370	4.7%
2016年10月期	0.00	15.00	15.00	523	5.0%
2017年10月期	個別決算へ移行 0.00	15.00	15.00	278	9.3%
2018年10月期	0.00	20.00	20.00	696	5.0%
2019年10月期	0.00	20.00	20.00	393	8.8%
2020年10月期	0.00	20.00	20.00	194	17.9%
2021年10月期 (予想)	0.00	20.00	20.00	236	14.7%

木材事業福山工場の安定稼働後に具体的な配当性向の目標値を定めたいと考えております。



PART5

中期経営計画

ORVIS CORPORATION

2020～
2022年
中期経営
計画

「チャレンジ110」



GOAL

経営理念

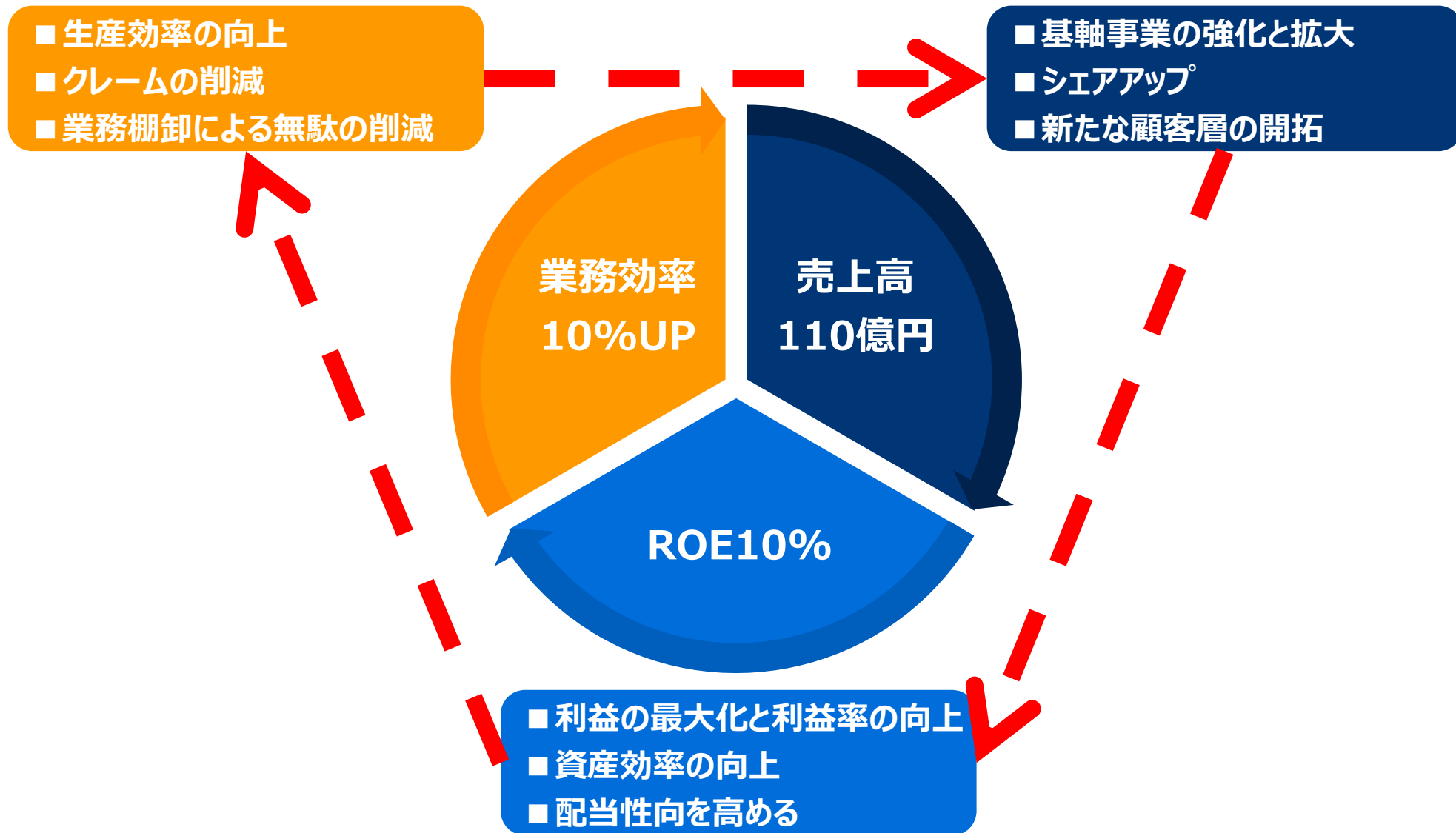
顧客満足、社員満足

中期経営計画基本方針

問題意識とチャレンジ精神をもって、より中身の濃いコミュニケーションをとり、
改善・改良を繰り返すことで持続的な成長を追求し、企業価値の向上を目指す

中期経営計画

チャレンジ110（イチイチゼロ）

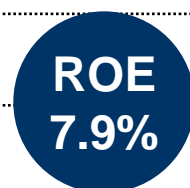


2020年10月期は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標未達、2021年10月期もコロナ禍の影響を受けて当初計画を下方修正、2022年10月期に最終目標達成を目指す。

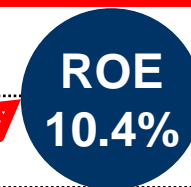
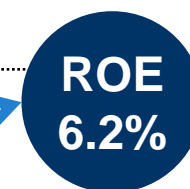
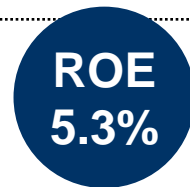
(単位：百万円)

摘要	2020年10月期 (目標)	2020年10月期 (実績)	2021年10月期 (目標)	2022年10月期 (最終目標)
売上高	10,248	9,022	9,423	11,580
営業利益	426	326	338	617
経常利益	361	271	331	598
当期純利益	288	194	236	429

コロナ禍にあり



目標未達



目指す姿

繰越欠損金解消

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

これらの情報は、現在入手可能な情報から経営者の判断に基づいて作成されており、実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみで全面的に依拠することはお控え下さいますようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

IR担当
窓口



株式会社オービス 経理部 新谷和弘

- TEL 084-934-2621 FAX 084-934-2624
- E-MAIL : ir@orvis.co.jp
- URL : <http://www.orvis.co.jp>